

巻頭言

心理学部の新たな歩みの時

跡見学園女子大学心理学部臨床心理学科
学部長 松壽 くみ子

心理学部は、野島一彦学部長のリーダーシップのもと創生期4年間を走りました。心理学部第1期卒業生を送り出し、2022年度は、次の4年間の初年度です。

この、次のステージを担うのは、担当教員12名、野島一彦先生の後任として下山晴彦先生、また、新たに福島里美先生をお迎えしました。

学部臨床心理学科主任 宮岡佳子先生、大学院臨床心理学専攻学務 宮崎圭子先生、心理教育相談所長 下山晴彦先生、そして、全員で、いくつもの役割を担当しながらの、大変多忙な学部運営となりますが、学生思い、丁寧な対応を心がけています。

そして、学部、大学院ともに、国家資格である公認心理師試験を受験するカリキュラムに対応していますが、資格取得を目指す人も、目指さない人も、学ぶことの楽しさを知り、それぞれの目指すものに沿って、近づいていけるよう、心理学、臨床心理学のエキスパートが力を合わせて、お手伝いすることを目指しています。

新たなステージを迎え、このような心理学部のビジョンをより反映できるよう、現在大学全体で進められている令和8年度カリキュラム改正にむけて、検討を進めています。

紀要では、心理学部教員、大学院生の研究面での取り組みの成果が集約されています。自らの研究成果を公表し、批判的なコメントを得ることのできる貴重な機会となっています。

今後も、多くの皆さんに、ご投稿をいただいて、楽しいディスカッションの場となることを目指したいと思います。